様式３(2020.08改)

作成日　令和 ４年　３月　１６日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000639
事業所名	グループホームサライ上豊田

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	施設の運営方針として、「地域との交流と連携」「地域の中で事業所が孤立することのないような活動」を掲げ、「地域活動への積極的参加」を表明している。「地主より畑を借り、近隣住民との共同作業でのふれあい」などを計画したり、地域行事への参加等もめざしている。コロナ禍のため実現していないが、終息を見ながら「地域で居心地よく安らげる環境づくりをお手伝いします」を実現されたい。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営規程に「運営推進会議の規定及び目的等」を定めている。利用者・家族、地域の代表者、市町村の職員又は地域包括支援センター職員、介護の有識者などの参加を定め、定例開催に向け、前向きに取り組んでいる。コロナ禍という制約があるため当面は「書面会議」で開催し、施設運営の重要事項等を選択し討議しており、意見に対してサービスの向上に努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	開設以来、コロナ禍の制限がある中、施設長は、市町村との連携を積極的に目指しその窓口となっている。「いきいき支援センター職員」の運営推進会議への参加や市の担当窓口との連絡・相談などを通じ、グループホーム運営についての意見聴取など、良好な連携関係づくりをめざしてサービスの質向上に努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	日ごろの声掛けや介護の中で利用者の意見・要望等の把握に努めている。家族の意見等は原則として面会時に把握。然し、施設開設以来、コロナ禍が断続的に続き、充分な反映が難しい状況が続いている。毎月の「ホーム便り」に、家族意見等を返信できる用紙を同封し、意見等を把握して改善に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

備考欄】

運営推進会議出席予定者と調整を重ねようやく、令和　３年度７月から開催するもコロナ流行のため、７月、９月、１１月、１月各月は、市の指示に従い「書面開催」として案内を出し、必要な連絡・資料送付を行っている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	○									